

press release

前売券好評販売中!

from 2026.12/15 (火 tue.) to 2027.2/7 (日 sun.)

Collection!

福富太郎の眼

Collector's

昭和の
キャバレー主が
愛した絵画

FUKUTOMI TARO
The Passion of the Cabaret Magnate

北野信富《道行》(油) 1913年頃 福富太郎コレクション資料室蔵

The Passion of the Cabaret Magnate

広島県立美術館
Hiroshima Prefectural Art Museum

〒730-0014 広島市中区上幟町 2-22 Tel.082-221-6246 Fax.082-223-1444 <https://www.hpam.jp/museum>

100円
観覧券

【休館日】12月25日～1月1日（年末年始）
【開館時間】9時～17時（全曜日は19時まで開館）
※入場は開館30分前まで ※12月15日は10時開場
※開館情報等に変更が生じる場合がございます。
※最新情報は広島県立美術館（電話・HP・SNS）まで

【入場料】一般：1,500円 高・大学生：1,000円 小・中学生：700円
※会期中、本展チケットのご提示（※※※）により、100円で観覧園にご入園いただけます。

- ・前売・20名以上の団体は当日料金より200円引き
- ・学生券をご購入・ご入場の際は、学生証のご提示をお願いします。
- ・身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳及び戦傷病者手帳の所持者と介助者（1名）の当日料金は半額です。手帳をご提示ください。
- ・前売券は、広島県立美術館、セブンチケット（セブコード：116-909）、広島市・呉市内の主なプレイガイド、画廊・画材店、ゆめタウン広島、中国新聞社読者広報部などで販売しています。

【主催】広島県立美術館、イズミタツノ、中国新聞社、中国放送
【後援】広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、エフエムふくやま、尾道エフエム放送
【協賛】広島県信用組合、一般財団法人ランシン地域振興財団
【特別協力】福富太郎コレクション資料室
【監修】山下裕二（美術史家、明治学院大学教授）
【企画協力】アートワン

【概要】

戦後の経済成長を背景に、全国 44 店舗におよぶキャバレーを築き上げ、「キャバレー王」と称された福富太郎（1931-2018）は、卓越した審美眼で近代日本美術の名品を蒐集した稀代のコレクターです。画家の知名度や時代の評価にとらわれることなく、自らの感性で作品を選び、鏑木清方や上村松園、北野恒富をはじめ、岡田三郎助や満谷国四郎らの優品を収集しました。さらに、関連資料の収集や調査研究を重ね、美術に関する文筆活動を通じて作品の魅力を広く発信し、埋もれていた画家や作品の再評価にも貢献しました。

本展では、福富太郎の審美眼が育んだ約 80 点の珠玉のコレクションをご紹介します。一人のコレクターの「眼」を通して、日本近代美術の豊かな広がりとお深い魅力をご堪能ください。

福富太郎（ふくとみ・たろう／1931-2018）

本名・中村勇志智。東京都品川区生まれ。16 歳で銀座のキャバレーに入り、戦後の高度経済成長期には「健全娯楽」を掲げて全国 44 店舗に及ぶキャバレーチェーンを築き、「キャバレー王」と称された。美術コレクターとしては、浮世絵をはじめ、河鍋暁斎、鏑木清方らの日本画、さらに洋画まで幅広く蒐集。自らの審美眼を振り所に作品を選び、『芸術新潮』をはじめとした美術雑誌への寄稿や講演、テレビ出演などを通じて美術の魅力を広く発信した。



I コレクションのはじまり 鎬木清方との出逢い

コレクター福富太郎にとって、美術作品を蒐集する大きなきっかけとなった鎬木清方は特別な存在でした。少年時代に空襲で父の所有する清方の掛軸を失った体験が原点となり、1964 年頃から本格的な蒐集を開始。蒐集した作品を清方本人に見せる機会を得て以後、二人は交流を深めました。

本章では、福富が自身が亡くなった際にはともに埋葬して欲しいと語る程入れ込んだ^{うすゆき}《薄雪》(1917 年)や、発表当時に賛否両論を受けた異色作《妖魚》(1920 年)をなど、清方の優品 10 数点を展示します。

II-1 女性像へのまなざし 東の作家

福富コレクションの核となる近代日本画の女性像の蒐集は、清方への敬愛から始まり、梶田^{かじ た}はんこ、わたなべせい、とみおかえいせん、ひれざきえいほう、こむらせったい
半古、渡辺省亭、富岡永洗、緒崎英朋、小村雪岱といった、現在ではあまり知名度の高くない作家にまで広がり、その作品はいずれも極めて高いクオリティを誇ります。



池田輝方《幕間》1915 年頃

福富の眼は、一貫して江戸時代以来の伝統を継承した線描と岩絵具による美しい色彩の女性像に注がれていました。竹久夢二や伊東深水などの名品とともに、アカデミックな評価にとらわれることなく、独自の審美眼によって選び抜かれた個性豊かな作品群をご紹介します。



竹久夢二《かごめかごめ》1912年

II-2 女性像へのまなざし 西の作家

江戸っ子である福富の蒐集は、関東から関西（西）の画家の女性像へと広がっていきました。大正期に流行した妖艶な女性像への強い関心から、北野恒富の《道行》^{みちゆき}を入手した福富は、その美しさに魅了され自宅で毎晩眺めて過ごしたといえます。また、上村松園については京都の女性ならではの「はんなりとした美しさ」が理解できないといいつつも、優品《よそほい》を蒐集しました。

さらに、^{かいのしょうたのおと}甲斐庄楠音や^{まつうらぶせつ}松浦舞雪ら、関西の美人画へと視野を大きく広げ、多面的な女性像の魅力を追求した福富独自の美意識に迫ります。



上村松園《よそほい》1902年頃



松浦舞雪《踊り》1931 年頃

III-1 時代を映す絵画 黎明期の洋画

福富コレクションの魅力は美人画だけにとどまらず、明治期の洋画黎明期の貴重な作品にも及びます。高橋由一や山本芳翠といった近代美術史上の重要作家はもちろん、チャールズ・ワグマンやジョルジュ・ビゴーなどの来日外国人画家の作品まで幅広く収集されています。また、敬愛する勝海舟が所蔵した川村清雄^{かわむらきよお こうりゅう}《蛟龍天に昇る》は並々ならぬ熱意で購入しました。

福富は、自身が経験した第二次世界大戦後の記憶と重ね合わせるように、明治の画家たちが和と洋の狭間で葛藤しながら生み出した時代を映す絵画を精力的に集めました。



山本芳翠《眠れる女》1893 年頃



川村清雄《蛟龍天に昇る》1891 年頃

III-2 時代を映す絵画 江戸から東京へ

福富は有名・無名を問わず、自らの眼で惚れ込んだ作品は躊躇なく収集しました。なかでもとりわけ愛着が深かったのが岡田三郎助《ダイヤモンドの女》です。この作品は、岡田が洋画家の大家であったからではなく、純粹に絵に惚れ込んだからこそ購入したものでした。

読書家でもあった福富は、美術史に対する知識も豊富で、萬鐵五郎、岸田劉生、^{よろずてつご ろう きし だりゅうせい}村山槐多、^{むらやまかい た さ えきゆうぞう}佐伯祐三など、日本の洋画史に名を残す画家の作品も蒐集することになりました。



岡田三郎助《ダイヤモンドの女》1908 年



村山槐多《婦人像》1916年

III-3 時代を映す絵画 戦争画の周辺

幼少期に第二次世界大戦を体験した福富太郎にとって、戦争を主題とした絵画は琴線に触れるものでした。

なかでも強い思い出を抱いたのが、満谷国四郎《軍人の妻》です。制作直後にアメリカへ渡り、1990年のオークションで福富が落札したことで、約90年ぶりに日本へ里帰りを果たしました。画家の知名度や美術史の評価にとらわれず、戦争という時代の記憶と向き合い、自らの眼力で選び抜いた独自のコレクションをご紹介します。

press release

コレクター 福富太郎の眼

昭和のキザレー王が愛した絵画



満谷国四郎《軍人の妻》1904 年



宮本三郎《大和撫子》1939 年

【関連イベント】

◎記念講演会「戦後最高のコレクター・福富太郎さんと私」

日時：12月20日（日）13時30分～15時〔開場13時〕

講師：山下裕二（本展監修者、美術史家、明治学院大学教授）

会場：地階講堂

共催：広島県立美術館友の会

※聴講無料

※要事前申込（電話 082-221-6246）

◎展示室からインスタライブ

日時：12月22日（火）17時～

公式インスタグラムはこちらから



◎学芸員によるギャラリートーク

日時：12月18日（金）、1月15日（金）、1月29日（金）各日11時～

会場：3階展示室

※要入館券 ※事前申込不要

◎語らずにはいられない！みんなで楽しむ鑑賞会

本展に出品されている作品の魅力を、自分がコレクターになったつもりで語り合います。

日時：1月16日（土）11時～、15時～

会場：3階展示室

定員：各回6名

※要入館券 ※要事前申込（電話 082-221-6246）

◎ロビーコンサート「昭和モダン音楽ナイト」

日時：12月18日（金）17時～

演奏：河村貴之（トランペット）、平田恵子（ピアノ）、牧岡勇氣（ウッドベース）

会場：1階ロビー

※鑑賞無料

※事前申込不要

◎ポッドキャスト配信 Spotify

詳細は当館SNS・HPをご覧ください。

【開催概要】

メインタイトル：コレクター福富太郎の眼 昭和のキャバレー王が愛した絵画

英 語 名：FUKUTOMI TARO Collection: The Passion of the Cabaret Magnate

会 期：2026年12月15日(火)～2027年2月7日(日)※休館日12月25日～1月1日(年末年始)

開 館 時 間：9:00～17:00(金曜日は19:00まで開館)

※入場は閉館の30分前まで ※12月15日は10:00開場

※開館情報等に変更の生じる場合がございます。最新情報は広島県立美術館(電話・HP・SNS)まで

料 金：一般 1,500円 高・大学生 1,000円 小・中学生 700円

※前売り・20名以上の団体は当日料金より200円引き

※会期中、本展チケットのご提示(半券可)により、100円で縮景園にご入園いただけます。

※学生券をご購入・ご入場の際は、学生証のご提示をお願いします。

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳及び戦傷病者手帳の所持者と介助者(1名まで)の当日料金は半額です。手帳を提示してください。

※前売券は、広島県立美術館、セブンチケット(セブンコード：116-909)、広島市・呉市内の主なプレイガイド、画廊・画材店、ゆめタウン広島、中国新聞社読者広報部などで販売しています。

開催クレジット

主 催：広島県立美術館、イズミテクノ、中国新聞社、中国放送

後 援：広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、エフエムふくやま、尾道エフエム放送

協 賛：広島県信用組合、一般財団法人ケンシン地域振興財団

特 別 協 力：福富太郎コレクション資料室

監 修：山下裕二(美術史家、明治学院大学教授)

企 画 協 力：アートワン

問い合わせ先：広島県立美術館

〒730-0014 広島市中区上幟町2-22

TEL.082-221-6246 FAX.082-223-1444

E-mail: iroeuma2@gmail.com

担当：学芸課 神内有理

広報担当：総務課 一色直香

公式 SNS はこちらから



【媒体掲載用の画像提供について】

※いかなる場合も本プレスリリースからの転用はご遠慮ください。

※都合により出品作品が異なる場合がございます。ご了承ください。

※画像については提供が可能です。掲載の際に画像が必要な場合は、当館へお問い合わせください。

※画像掲載の際には、画像とテキストが掲載されたレイアウト原稿を事前に当館へ提出していただき、

1週間程度お時間を頂きます。ご了承ください。

※展示室内での筆記具の使用は鉛筆のみお願いします。(ボールペンなど使用不可)